

《プロジェクト名 酪農振興南陽乳質改善プロジェクト》

市町村	南陽市	対象地域	南陽市	分野	畜産
実施主体名	酪農振興会南陽支部	代表者氏名	山村忠志	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	南陽市元中山1549
実施主体構成	酪農家（構成員10名）				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	150,000千円（22,674千円）				
	独自の目標項目	粗飼料生産による自給率の向上を目的とした、WCS利用やデントコーン（DC）ラップサイレージのエコフィールド活用飼料給与と生産コスト低減				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
	産出額	127,326千円	130,000千円	135,000千円	140,000千円	147,000千円
	独自の 目標項目	①WCS利用面積拡大 ②DCエコフィールド	① 20ha ② 6ha	① 23ha ② 10ha	① 23ha ② 15ha	① 25ha ② 20ha
プロジェクト 概要	◎実施方針	初妊牛の導入により、産乳量の増加と生乳の高品質化を維持する				
	○産出額の増大	生乳3,843千円、産出仔牛（F1=6×130+ホルスタイン1×70）850千円 自バター製造				
	○雇用の創出	自バター製造時の雇用促進と初妊乳用牛の増加による後継者の就農確保（バター製造従事者 延べ576人日）				
	○創意工夫	体細胞の低減による高品質生乳出荷、自バターのブランド化				
	○実現性	経営安定化に向け酪農家が積極的なために、実現性はある				
	○地域への波及効果	高品質な生乳出荷により、乳製品を含めてブランドとして地域に反映する				
	○その他					

事業計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成 年度）
	事業内容	初妊牛の増頭（7頭）	